

第 53 回 高輪築堤調査・保存等検討委員会（部会①）

開催記録

1 開催概要

- 日 時：令和7年3月5日（水）10：00 ～ 12：00
- 場 所：TKP ガーデンシティ PREMIUM 品川 ホール5A
- 出席者：

表 出席者一覧

委員長	・ 谷川 章雄氏（早稲田大学名誉教授）
委員	・ 老川 慶喜氏（立教大学名誉教授） ・ 小野田 滋氏（鉄道総合技術研究所 アドバイザー） ・ 古関 潤一氏（東京大学名誉教授・ライト工業株式会社 R&D センター テクニカルオフィサー）
オブザーバー	・ 文化庁文化財第二課 史跡部門 ・ 港区教育委員会事務局 教育推進部 図書文化財課 ・ 港区街づくり支援部 ・ 東京都 教育庁 地域教育支援部 管理課 ・ 東京都 建設局 道路建設部 鉄道関連事業課 ・ 東京都 交通局 建設工務部 計画改良課 ・ 独立行政法人都市再生機構 東日本都市再生本部 都心業務部 ・ JR 東日本コンサルタンツ株式会社 ・ 東日本旅客鉄道株式会社 グループ経営戦略本部 品川・大規模プロジェクト推進部門 ・ 東日本旅客鉄道株式会社 マーケティング本部 ・ 東日本旅客鉄道株式会社 構造技術センター ・ 京浜急行電鉄株式会社 鉄道本部 ・ 京浜急行電鉄株式会社 生活事業創造本部
事務局 東日本旅客鉄道(株) 京浜急行電鉄(株)	・ 東日本旅客鉄道株式会社 グループ経営戦略本部 品川・大規模プロジェクト推進部門 ・ 東日本旅客鉄道株式会社 マーケティング本部 ・ 東日本旅客鉄道株式会社 建設工事部 ・ 京浜急行電鉄株式会社 鉄道本部 ・ 京浜急行電鉄株式会社 生活事業創造本部 他
サポート	・ パシフィックコンサルタンツ株式会社

- 当日配付資料

1) 議事録確認

- ・ 次第
- ・ 資料1：第52回委員会（2/5）部会①議事録案

- ・ 資料2：第52回委員会（2/5）部会②議事録案
- ・ 資料3：第52回委員会（2/5）部会③議事録案

2) 部会①

- ・ 次第
- ・ 資料1：4-2A街区の調査について

2 議事要旨

2.1 議事録確認

(1) 開会

- 第 53 回 高輪築堤調査・保存等検討委員会を開会する。(事務局)

(2) 議事録確認

1) 第 52 回委員会 (2/5) 部会①の議事録確認

- 修正指摘なし。(委員一同)

2) 第 52 回委員会 (2/5) 部会②の議事録確認

- 修正指摘なし。(委員一同)

3) 第 52 回委員会 (2/5) 部会③の議事録確認

- 修正指摘なし。(委員一同)

2.2 部会①

(1) 開会

- 第 53 回 高輪築堤調査・保存等検討委員会の部会①を開会する。(事務局京急)

(2) 4-2 A 街区の調査について

- 資料 1 について説明する。(港区)

<説明概要>

- 4-2 A 街区でこれまで、新たな建物を作る箇所の杭位置について調査を進めてきた。
 - 国道側の南西隅の杭位置で深礎による調査を行った結果、明治 5 年の土留めがあることを確認していたが、その下から石積みが発出されたことを今回報告する。
 - この石積みは、泉岳寺駅改良工事地区の隣接地での調査で、2 列の土留めの間で検出された石積み列と同じものと考えている。
 - 検出した石積みは築堤よりも古い時期のものとする。
 - 今回確認された石積みは既に取り上げていることを報告する。
- 新たに見つかった遺構について港区に調査して頂いたが、本箇所は 1 年前に 4-2 A 街区の建物の杭位置の変更が困難なため、記録保存調査後の施工について本委員会の了承を得ている。今回出てきた石積みは想定外であるが、計画の状況としては従前と変わら

ず、現行計画のまま工事を進めることに理解をいただきたい。(JR)

- 当初の調査では、明治5年に東海道の護岸の石を外した代わりに設置された土留めの板柵が見つかっており、当時記録保存という判断を行った。今回この板柵を外したところ、江戸時代の石積みが2段出てきたということであり、大変驚いた。(委員長)
- 泉岳寺駅改良工事地区の隣接地での調査の様相とは異なり、今回は同じ位置に重なっていることが新たな発見である。(委員長)
- 17世紀に積まれた東海道の護岸であるが、石は高輪築堤に転用されているので残っていること自体が珍しい。(委員長)
- 現状では杭の計画位置を変更することが不可能で、後から発見された石積みということもあり、港区の判断で記録保存として進めたと聞いている。委員会としては、取り上げた2段の石積みの状態を活かした形での移築の検討をお願いしたい。(委員長)
 - ← 異議なし。(委員一同)
 - 取り出した石は記録作業後も保存することにしたい。現時点では設置場所が無い状況であるが、移築については社内で検討していきたい。(JR)

(3) その他

＜全体会・部会①・部会②・部会③終了後＞

- 最後に文化財行政からコメントをもらう。
 - ← 全体会での委員の見解の提示について、5・6街区は文化庁も関心を持っているので、議論を尽くしてもらいたい。部会①や②の結果についても承知した。(文化庁)
 - ← 全体会で委員の見解が示されたが、JR 東日本と協議を進めていくことになる。今後ともよろしくお願いいたします。(東京都)
 - ← 全体会の委員の見解について、港区教育委員会もこれまでその都度申し上げている通り、要望書を発出している。主旨は同じものと理解するので改めてお願いしたい。今後 JR 東日本から見解が出るということだが、港区教育委員会内でも共有したい。(港区)

(4) 閉会

3 議事録

3.1 議事録確認

(1) 開会

- (事務局京急) 第 53 回 高輪築堤調査・保存等検討委員会を開会する。
- ・ 挨拶
 - ・ 資料確認
 - ・ オンラインの案内
 - ・ 次第説明

(2) 議事録確認

- (事務局京急) 3つの議事録について修正等の指摘はあるか。修正等があれば委員会終了までに連絡をいただきたい。
- (事務局京急) 意見がなければ、議事録確認を終了する。

3.2 部会①

(1) 開会

- (委員長) 次第に沿って進める。

(2) 4-2A 街区の調査について

- (港区) 資料 1 について説明する。4-2 A 街区ではこれまで、新たな建物を作る箇所の杭位置について調査を進めてきた。東側は元々京急の本社があり、解体時に一度掘削されている。残り国道側の部分についてはボーリング調査を、国道側の南西隅の杭位置において深礎による調査を行った結果、明治 5 年の土留めがあることを確認していたが、その下から石積みが発出されたことを今回報告する。この石積みは、泉岳寺駅改良工事地区の隣接地での調査で、2 列の土留めの間で検出された石積み列と同じものと考えている。この石積みは段数の違いや、無かった箇所などもあった。今回検出した石積みは、築堤よりも古い時期のものとする。今回確認された石積みは既に取り上げていることを報告する。
- (JR) 新たに見つかった遺構について港区に調査して頂いたが、本箇所は 1 年前に 4-2 A 街区の杭位置の変更が困難なため、記録保存調査後の施工について本委員会の了承を得ている。今回出てきた石積みは想定外

であるが、計画の状況としては従前と変わらず、現行計画のまま工事を進めることに理解をいただきたい。

(委員長) 当初の調査では、明治5年に東海道の護岸の石を外した代わりに設置された土留めの板柵が見つかったと認識する。当時は記録保存という判断を行った。今回この板柵を外したところ、江戸時代の石積みが2段出てきたということであり、大変驚いた。泉岳寺駅改良工事地区の隣接地での調査の様相とは異なり、今回は同じ位置に重なっていることが新たな発見である。しかし、現状では杭の計画位置を変更することが不可能で、後から発見された石積みということもあり、港区の判断で記録保存として進めたと聞いている。委員会としては、取り上げた2段の石積みの状態を活かした形での移築の検討をお願いしたい。17世紀に積まれた東海道の護岸であるが、石は高輪築堤に転用されているので、残っていること自体が珍しい。

(委員一同) 異議なし。

(JR) 取り出した石は記録作業後も保存することにしたい。現時点では具体的な設置場所が無い状況であるが、移築については今後社内で検討していきたい。

(委員長) 質問、意見はあるか。

(委員長) 他に何かなければ、次に進める。

(3) その他

(委員長) その他は何かあるか。

<全体会・部会①・部会②・部会③終了後>

(委員長) 最後に文化財行政からコメントをもらう。

(文化庁) 全体会での委員の見解の提示について、5・6街区は文化庁も関心を持っているので、議論を尽くしてもらいたい。部会①や②の結果についても承知した。

(東京都) 全体会で委員の見解が示されたが、JR 東日本と協議を進めていくことになる。今後もよろしくをお願いしたい。

(港区) 全体会の委員の見解について、港区教育委員会もこれまでその都度申し上げている通り、2021年5月11日に「高輪築堤の保存に関する要望書」を発出している。主旨は同じものと認識しており、改めてお願いしたい。今後 JR 東日本から見解が出るということだが、港区教育委員会内でも共有したい。

(4) 閉会

(委員長) 特になければ部会①を閉会し、部会②に進める。

以 上